

臨床研究「歩行機能評価アルゴリズムによるフレイル・ロコモ・介護リスク評価モデルの構築」 について

筑波大学附属病院では、標題の臨床研究を実施しております。

本研究の概要は以下のとおりです。

① 研究の目的

中・高齢者（45-89歳）を対象とし、認知機能、睡眠状況、心身状態、運動実施状況、社会交流状況、要介護状態区分など生活機能の包括的な追跡調査（つくばハピネスライフ研究）に加えて、歩行の様子を正面から撮影した動画を撮影し歩行機能をAIで評価することで、中・高齢者のフレイル・ロコモ（移動機能が低下する状態）・介護リスクを評価するモデルを開発し、個人の生活の質の改善に役立てます。

② 研究対象者

以下の基準をすべて満たしている場合であって、研究責任者が適切と認める方に、この研究への参加をお願いすることになります。

1. つくばハピネスライフ研究の「つくば市民のための健康と生活調査」において、基本チェックリストの回答対象者である45歳から89歳のうち、認知機能・睡眠の質・生活活動低下のいずれかのリスクを有し、フレイルや要介護の対象になるリスクを持つ方、および健常な方
2. 本人の意思が確認でき、「つくばハピネスライフ検診」の受診およびこの研究に研究対象者として参加することについての同意文書に同意が得られた方
3. 杖・歩行器などを使用せずに自力で安全に歩行ができる（転倒を防止するための付き添いがあったとしても良い）と研究責任医師が判断できた方

③ 研究期間：倫理審査委員会承認後～2027年3月31日まで

④ 研究の方法

認知機能、睡眠状況、身体機能、心理・社会状況、血液・尿検査、アレルギー検査等により生活機能の網羅的な調査（つくばハピネスライフ研究）と並行して、歩行の様子を撮影した動画を撮影すること等により取得したデータに基づき、歩行の機能を評価し、中・高齢者のフレイル・ロコモ・介護リスクを評価するモデルを開発します。

⑤ 試料・情報の項目

歩行動画および歩行動画指標、

その他、つくばハピネスライフ研究において取得する情報：基本属性、健康状態、運動実践状況、社会交流状況、建造環境の認知、既往歴、家族歴、血管リスク、生活習慣、身体機能、認知機能、睡眠状況、心理状態・社会状況、サルコペニアと関連するバイオマーカー、アレルギー、排尿機能、医療・介護情報データ等

⑥ 試料・情報の第三者への提供について

歩行動画は、歩行動画の分析を目的として、セキュリティが担保されたファイル共有サービスを使用し、本研究の共同研究機関であるエクサウィザーズ社に提供されます。また、本研究の結果得られた統計解析結果は、筑波大学からアステラス製薬及びエクサウィザーズ社に提供されます。

⑦ 試料・情報の管理について責任を有する者

代表機関：筑波大学

研究責任者：西山博之（筑波大学 医学医療系 腎泌尿器科学 教授）

⑧ 研究機関名および研究責任者名

共同研究機関 1：アステラス製薬株式会社

共同研究機関 1 の研究責任者：角山和久（アドバンスドインフォマティクス&アナリティクス 部長）

共同研究機関 2：株式会社エクサウィザーズ

共同研究機関 2 の研究責任者：羽間康至（MedTech 事業部長）

⑨ 本研究への参加の同意を撤回される場合

本研究への参加の同意を撤回される場合は、下記の問い合わせ先へご連絡ください。すでに研究結果が公表されている場合など、ご希望に添えない場合もございます。

⑩ 問い合わせ連絡先

筑波大学 体育系 助教 尹（ゆん）之恩（じうん）

「つくばハピネスライフ研究事務局」

〒305-8550 茨城県つくば市春日1-2

TEL： 029-859-1834（平日9:00～17:00）

E-mail：yoon.jieun.fu@u.tsukuba.ac.jp

*なお、上記は概要であり、詳細は同意文書を頂く際の説明文書において、説明させていただきます。